飛鳥資料館 夏期企画展「鋳造技術の考古学 - 東アジアにひろがる鋳物師のわざ―」

金属を溶かし、鋳型に流し込むことによって製品を作る技術を鋳造技術といいます。東アジアにおける鋳造技術は、いまから4000年以上前の中国で出現し、殷周時代の複雑な青銅器を作り上げるまで発展します。やがてその技術は周辺の地域に伝わり、日本では奈良時代に巨大な東大寺盧舎那仏像を築きあげます。

奈良文化財研究所では、これまでの60年近くにわたる活動のなかで、飛鳥・奈良時代を中心とした数多くの鋳造遺跡の調査をおこなうとともに、梵鐘・鏡・銭貨などさまざまな金属製品にたいする研究に取り組んできました。

本展では、東アジア史的な観点から鋳造技術の歴史的変遷をたどるとともに、奈文研の鋳造技術に関する調査研究を紹介します。

（飛鳥資料館　丹羽 崇史）

開催期間：2011年8月2日（火）～9月4日（日）
お問合せ：TEL　0744-54-3561（飛鳥資料館）
開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）
休 館 日：月曜日

平城宮跡資料館 新規常設展「考古科学コーナー」オープンのお知らせ

平城宮跡資料館に、新しく「考古科学コーナー」が登場します。場所は館内の北西、企画展示室の隣のスペースです。

会場は、保存科学・年輪年代学・環境考古学・測量と探査の４つの分野で構成され、奈文研でおこなっている文化財の科学的な分析方法を、わかりやすく解説します。お子さまでも楽しめるように、各分野に体験コーナーも設けています。

オープンは７月末の予定です。みなさま、親子連れ、お孫さん連れで、夏休みに是非お越しください。

（企画調整部　渡邉 淳子）

お問合せ：TEL　0742-30-6753（連携推進課）
開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）
休 館 日：月曜日（月曜が休日の場合は火曜休館）、年末年始

■　お知らせ

飛鳥資料館　夏期企画展
2011年8月2日（火）～9月4日（日）
「鋳造考古学の世界－東アジアにひろがる鋳物師のわざ－」

公開講演会（109回）
2011年10月15日（土）
於：平城宮跡資料館

特別公開講演会（東京会場）
2011年12月3日（土）
於：学術総合センター　一橋記念講堂

■　記　録

埋蔵文化財担当者専門研修
○建築遺構調査課程
2011年6月13日～17日　9名
○建造物保存活用基礎課程
2011年6月20日～24日　20名

現地説明会
○平城第481次発掘調査（平城宮跡東院地区）
2011年6月19日（日）　650名

平城宮跡資料館　春期企画展
2011年2月19日～5月8日
「発掘速報平城2009･2010」　38,127名

飛鳥資料館　春期特別展
2011年4月16日～5月29日
「星々と日月の考古学」　10,679名

公開講演会（108回）
2011年6月18日
於：平城宮跡資料館　248名

編集　「奈文研ニュース」編集委員会
発行　奈良文化財研究所　http://www.nabunken.go.jp/
Eメール　jimu@nabunken.go.jp
発行年月　2011年6月